

日本気象学会昭和64年度春季大会の告示

1. 期 日 昭和64年 5月24日(水)~26日(金)
2. 会 場 気象庁
東京都千代田区大手町1丁目 3-4
(電話 03-212-8341)

3. 研究発表

- 1) 発表は口頭またはポスターによって行う。
- 2) 口頭発表には2種類があり、これらの選択は原則として発表者の希望による(751 ページ「口頭発表の方法」参照)。なおスペシャル・セッション(752 ページ参照)も口頭発表に準ずる。
- 3) ポスター発表は「ポスター・セッションの方法」による。

4. 講演申し込み方法

- 1) 発表方法にかかわらず、本号挿入の申し込み用紙

に記入し、予稿集原稿を添えて申し込む。詳細は750 ページの「講演予稿集原稿の書き方」をごらん下さい。

- 2) あて先：〒305 茨城県つくば市長峰 1-1

気象研究所 予報研究部内
講演企画委員会(藤部文昭)

- 3) 期限：64年3月9日(木)必着、ただしスペシャル・セッションについては64年3月1日(水)必着

5. シンポジウム

テーマは「オゾン層の科学——現状と展望——」

ポスター・セッションの方法

1. 概要紹介に引き続きポスターの前で説明を行う。ポスター発表の申込みが多い場合は、2回以上に分けて行う。
2. ポスター・セッションは30分~1時間でこの間は口頭発表は休憩とする。
3. 概要紹介は直前の口頭発表のセッション(3会場のいずれか一つを講演企画委員会で指定する)で講演者自身が行う。時間は2分間でOHPまたはスライドを1枚だけ用いることができる。
4. ポスターは事務局の指定した場所に掲示する。なお、掲示板に余裕があれば大会期間3日間を通じて

掲示することもできる。

5. ポスターの掲示および撤去は講演者自身が行う。なお掲示に必要な紙またはテープは事務局で用意する。
6. 掲示板は90cm(縦)×180cm(横)である。ただし、ポスターは大きな紙一枚に書く必要はない。例えば、B4サイズの紙に分けて描き、当日掲示板に並べてもよい。
7. ポスターには講演題目と講演者名を明記する。文字や図は2~3m離れても、はっきり分かるように書く。

講演企画委員会からのお知らせ—研究会活動への援助について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な援助をします。具体的には、大会プログラム等への掲示、講師を呼ぶ場合の報酬・交通費などの資金、会場・機器の手配、時間の調整などが考えられます。支援を希望する方は、下記の事項を明記の上、講演企画委員会へ申し込

んで下さい。

申込先・申込期限：一般講演と同じ

- 記入事項
1. 会の名称とテーマ
 2. 代表者の連絡先
 3. 希望日時・開催場所
 4. 予想参加人数
 5. 希望する支援内容